

## 図書館だより

秋田大学附属図書館

附属図書館ホームページ

<http://www.lib.akita-u.ac.jp/>

医学部分館ホームページ

<http://libra.med.akita-u.ac.jp/>

菅江眞澄の道を辿って 17 白瀑神社、左手に白瀑（瀧）が見える。背景、左に薬師山、主峰（右）は母谷山。

まうでまく田の道をしばし行て、御前近くうすらひとけ流る山川あり…。…松杉生いて神さひたる村に寺あり。（雪の道奥 雪の出羽路）

秋田大学名誉教授 山本穆彦氏 画

## 目次

「巻頭言」 大学図書館の課題と秋田大学附属図書館	渡会 二郎	2
秋田大学学術情報リポジトリ (AIR) 案内		4
OPAC (蔵書検索システム) の電子ジャーナルアイコンについて		6
シリーズ 心に残る一冊 (38)	坪井ひろみ	8
本学教員科研費報告書リスト		9
本学教員等著作寄贈図書／子ども見学デー開催		10
医学部分館コーナー		11
お知らせ／編集後記／奥付		12

# 大学図書館の課題と 秋田大学附属図書館

附属図書館長 渡 会 二 郎



平成19年4月に図書館長に就任致しましたが、今回は大学図書館に課せられた多くの課題の中から重点事項について述べます。

大学図書館は、大学に於ける学術情報基盤である蔵書・学術雑誌（冊子体）主体の整備・運用から、デジタル化、ネットワーク化に応じた電子ジャーナルおよび大学で生産される研究・教育成果を電子書庫として登録・運用・発信する機関リポジトリを併せ持つハイブリッド・ライブラリーへと重点がシフトしてきている。国立国会図書館は電子書籍、電子雑誌を初めとする多量のデータファイルを登録、保管しインターネットを介して迅速・多量に配信し何時でも、何処でも、誰でも受信し利用できるようにデジタルコンテンツの共同利用体制を執って来ている。

大きく変化するデジタル環境化で、秋田大学附属図書館も研究・教育支援達成の為、アクセス機能の良い図書館ホームページの作成、検索端末整備、My Library登録による図書館利用の利便性向上などインターネット環境下での研究・学習支援も進めている。平成19年3月の図書館システムの更新で、各種学術図書と利用案内情報の提供、学内LANでの蔵書検索、学外文献複写依頼に対する24時間サービスを開始している。

平成19年度からは「電子ジャーナル及び学術情報データベースの整備に関する基本方針」を策定し、全学共通経費による全タイトル利用可能なパッケージ契約で学術情報資料の効率的効果的収集を進めている。しかし電子ジャーナル経費高騰のスピードは著しく、今後予算との兼ね合いで購入内容の検討も

始める予定である。

秋田大学学術情報リポジトリは平成19年に年度計画推進経費を確保してサーバを設置し、平成20年3月27日に正式運用を開始した。9月5日時点で登録件数は800件を超え、アクセス者数は月平均4,500以上となり、学内の協力により現在順調に登録と運用を進めている。

デジタル環境の整備と共に、利用する側のルール順守に向けての教育や広報活動も大学の大きな課題である。平成12年から図書館の学生に対する情報教育が開始された。現在図書館情報リテラシー教育（情報の知識・技術A、B）として図書館における情報利用の基本を年2期に分けて講義をしている。図書館職員によるデジタル情報の利用・検索方法の実習の他に、19年度からは導入ないし初年次教育の意味も含めてアカデミックスキルと共にレポートと卒業論文作成の基本、プレゼンテーションの基本も講義している。学生がネット上から正誤を確認しないまま取得した情報でレポートを作成する事が今問題になっているので、図書館にある正確な一次情報としての蔵書、雑誌等の利用方法及び著作権を考慮した引用のルールの重要性を講義している。

米国大学図書館協会では「高等教育のための情報リテラシー基準」が制定されて（2000）、情報の効果的・効率的アクセス、情報・情報源の批判的評価、特定目的達成の為の効果的情報利用、倫理的かつ法律に則った情報のアクセス・利用等を修得させている。

本学も平成20年3月31日に図書館職員の努力により、「秋田大学情報探索ガイドブック2008」を発行し、



教職員の図書館利用と学生の情報リテラシー教育の  
為の参考図書としても活用して貰っている。

石川前館長時代の平成18年2月の秋田大学附属図  
書館自己点検・評価報告書、平成18年3月の秋田大  
学附属図書館外部評価報告書では、幾つかの改善す  
べき点が指摘された。

それを踏まえ平成19年度より職員の時間差出勤、  
アルバイト雇用による平日利用時間の延長、学内補  
正予算措置による空調設備設置、トイレ全面改修、  
身障者スロープ設置改修で利用環境の整備を行った。  
医学部分館では自動貸出返却装置設置で利用者の利  
便性向上と図書館業務の効率化を図った。

学生用図書も、法人化後の毎年1%の効率化係数  
による経費削減から除外してもらい、平成19年以降  
も前年と同額の予算を確保し、学生用図書館資料選  
定専門委員会を中心に、シラバス対応学習資料の充  
実を初めとする学習図書の充実を図ってきている。  
本学においては今後、学生の要望の多様化に合わせ  
た選書方法の見直しが課題となる。

大学図書館基準（大学基準協会）には相互協力の  
項目がある。そこには参考調査業務の協力体制の確  
立と資料の相互貸借、複写サービスが謳われている。  
秋田大学図書館は平成19年4月から秋田県立図書館  
で構築している県内公立図書館横断検索システムに  
参加し横断検索が可能となっている。平成20年3月27  
日に秋田県立図書館との相互協力協定に調印した。  
これは資料の相互利用、協力レファレンス（参考調  
査・照会等）、資料の収集保存、職員の相互協力を行  
う為である。7月28日からは相互貸借をスタートさ  
せており、My Libraryからの申込を受け付けている。

大学図書館の課題として、従来の冊子体主体時代

の静謐な図書館環境の確保だけでなく、グループ学  
習と学生・教員相互交流への対応、プレゼンテーシ  
ョン機能の整備、スキャナー・プリンター利用環境  
の整備、技術支援体制も視野にいたいわゆるラー  
ニング・コモンズ環境の導入があり、各大学で試み  
られてきている。法人化後の各大学図書館は、その  
老朽化、狭隘化に対する増改修、高度情報システムへ  
の対応、高度化・多様化する研究・教育ニーズに対応  
した動きを取って来ている。予算措置が前提ではあ  
るが、秋田大学も現在それらを視野に入れて関係部  
署を複合化させたセンター化の構想も進めている。

法人化後の新しい図書館基準への対応として、主  
題・専門知識を有する図書館専門職員の育成、情報  
ネットワーク環境整備、学生数の25%座席数確保等  
が求められてきている。

従来の大学図書館の基準では入り口設置審査が主  
であった。法人化後の2001年からは大学評価・学位  
授与機構に見られるように評価認証へと重点が移っ  
ている。中期目標・中期計画の策定と達成度測定に  
おいて、大学の教育研究と図書館活動の関係を考え  
た定量的指標・定性的指標および電子図書館サービ  
スの指標は未だ日本では模索の段階である。

近い将来日本においても、米国大学図書館協会に  
おける高等教育機関の図書館基準のように、認証・  
成果評価へと移っていくものと思う。その意味でも、  
平成20年度に法人化後の第二期中期計画に資するた  
め、図書館で10月実施予定の教育環境整備のための  
図書館アンケートは重要であり、教職員と学生の皆  
様のご協力をお願いしたい。

（わたらい じろう 医学部統合医学講座 教授）

## 秋田大学学術情報リポジトリ(AIR)案内

- ・ 本学関係教員等の研究・教育業績（論文等）が検索・利用できます。
- ・ 図書館HP左欄の“AIR”アイコンからお入りください。
- ・ 直接入る場合はIPアドレス <http://air.lib.akita-u.ac.jp> からどうぞ。

The screenshot shows the homepage of the Akita University Academic Information Repository (AIR). The header includes the university name in Japanese and English, a QR code, and a navigation menu. The main content area features a search bar, a list of recent items, and a list of departments. Annotations with callout boxes provide additional information:

- Search Bar:** A callout box states: "著作名や論文タイトル、主題などで検索できます。" (You can search by author name, article title, or subject).
- Recent Items:** A callout box states: "直接、論文情報に入れます。" (You can go directly to the article information).
- Departments:** A callout box states: "各学部等の登録情報の詳細が見られます。" (You can see the details of the registered information for each faculty).
- Left Sidebar:** A callout box states: "色々な項目ごとにブラウズ（一覧）できます。" (You can browse (list) by various items).
- Bottom Callout:** A yellow box states: "登録文献は Google Scholar や CiNii でも検索でき、本文も読めます!!" (Registered literature can be searched on Google Scholar or CiNii, and the full text can be read!!).



**リポジトリ検索**

検索

詳細検索

ホーム

**ブラウズ**

- コミュニティ & コレクション
- タイトル**
- 著者
- 主題
- 日付
- アクセス上位文献
- ダウンロード上位文献

**登録利用者:**

- 連絡情報編集
- 利用情報編集
- ヘルプ
- QSpaceについて(英語)
- 検索資料(日本語)

秋田大学 >

**ブラウズ: タイトル**

移動先: 0-9 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z  
 ※日本語タイトルへ移動する場合は下のテキストボックスへ入力し、移動ボタンをクリックして下さい。  
 タイトルの先頭数文字を入力して移動:  移動

アイテム表示: 1-21 / 807 (ページや登録数)

発行日	タイトル	寄与者
Nov-2001	1604年のマーストンとフェイクスピア 「変装した支配者」	佐々木, 和貴

**リポジトリ検索**

検索

詳細検索

ホーム

**ブラウズ**

- コミュニティ & コレクション
- タイトル
- 著者
- 主題
- 日付
- アクセス上位文献
- ダウンロード上位文献

**登録利用者:**

- 連絡情報編集
- 利用情報編集
- ヘルプ
- QSpaceについて(英語)
- 検索資料(日本語)

秋田大学 >

10 教育文化学部: Faculty of Education and Human Studies >

10A 学術誌論文 >

10A1 雑誌掲載論文 >

このアイテムの引用には次の識別子を使用してください:  
<http://hdl.handle.net/10295/832>

タイトル: ナチズム・抵抗運動・戦後教育

著者: 針馬, 達雄

著者: TSUSHIMA, Tatsuo

出版者: 教育史学会

刊行日付: Oct-2002

資料タイプ: Journal Article

キーワード: ナチズム  
ドイツ戦後教育  
抵抗運動

URI: <http://hdl.handle.net/10295/832>

掲載誌名: 日本の教育史学

ISSN: 03868982

NCID: AN00196260

号: 45

開始ページ: 293

終了ページ: 302

著者版フラグ: publisher

出現コレクション: [10A1 雑誌掲載論文](#)

参考文献リストには  
このアドレスを  
記載してください

このアイテムのファイル:

ファイル	記述	サイズ	フォーマット
<a href="#">tsushima@.pdf</a>		645.89 kB	Adobe PDF

本文(PDFファイル)はどちらをクリックしても開きます。

5

## OPAC (蔵書検索システム) の電子ジャーナルアイコン について

→電子ジャーナル利用可能を意味します。(クリック→直接電子ジャーナルページに入れます)

4. ☐ [Nature](#)   
Macmillan Journal.  
本館(手形キャンパス), 医学部分館(本道キャンパス)

5. ☐ [Nature and human activities](#)  
Museum of Nature and Human Activities, Hyogo. Museum of Nature and Human Activities, Hyogo.  
本館(手形キャンパス)


6. ☐ [Nature Biotechnology](#)  機械可読データファイル - リモートファイル

7. ☐ [Nature cell biology](#)   
Macmillan Magazines.  
医学部分館(本道キャンパス)

8. ☐ [Nature digest](#) 日本語編集版  
Nature Pub.  
本館(手形キャンパス), 医学部分館(本道キャンパス)

9. ☐ [Nature genetics](#)   
Nature Pub.  
医学部分館(本道キャンパス)

10. ☐ [Nature immunology](#)  機械可読データファイル  
Nature.  
本館(手形キャンパス)

**Nature Biotechnology** 

Nature

[ブックマーク](#) [学外へ複写依頼\(私費\)](#) [学外へ複写依頼\(公費\)](#)

●電子ジャーナル提供者: BMC他

●雑誌の所蔵:

所蔵巻号	請求記号	所在	所蔵年	受入継続	備考
1		オンライン	1998-		

●G/SMD: 機械可読データファイル - リモートファイル (wr)

電子ジャーナルのみ  
利用できます。  
所蔵年表示年が本文  
利用可能年です。

**Nature digest**  
日本語編集版  
東京: ネイチャー・ジャパン, 2005-

[ブックマーク](#) [学外へ複写依頼\(私費\)](#) [学外へ複写依頼\(公費\)](#)

### ●雑誌の所蔵:

所蔵巻号	請求記号	所在	所蔵年	受入継続	備考
1	2	本館第2書庫1-2F	2005-2005		
2	2	医分館雑誌書架	2005-2005		

所蔵年表示の冊子  
のみ利用できます。

### ●雑誌の巻号:

[バックナンバーを見る](#)

☐ Vol.2 No.12 2005/

所在

1	本館第2書庫1-2
2	医分館雑誌書架

### **Nature genetics**

New York, N.Y.: Nature Pub, c1992-

[ブックマーク](#) [学外へ複写依頼\(私費\)](#) [学外へ複写依頼\(公費\)](#)

こちらから電子ジャーナルが利用できる

### ●雑誌の所蔵:

所蔵巻号	請求記号	所在	所蔵年	受入継続	備考
1	1-36	医分館雑誌書架	1992-2004		

### ●雑誌の巻号:

[バックナンバーを見る](#)

☐ Vol.36 No.12 2004/12/10 **【最新号】**

所在	請求記号	資料ID(図書番号)	受入日	製本状態	予約人数
1	医分館雑誌書架		2004/12/09		

[バックナンバーを見る](#)

電子ジャーナルと所蔵年表示年の  
冊子が利用できます。電子Jの本文  
利用可能年は(冊子+EJ) 統合  
リスト等でご確認ください。

## (欧文タイトル) 冊子+電子ジャーナル統合リストの利用法

- ・ タイトルの先頭語のグループを選ぶと入れます。
- ・ 各タイトルを選択し、冊子情報あるいは電子ジャーナルページに入ってください。
- ・ “電子ジャーナル総合案内” ページもご覧ください。

A B C D E F-H I J K-L M <b>N-O</b> P Q-R S T U-Z			
Print Hold 冊子情報検索 冊子(Print)版/電子J検索⇒ OPAC 電子J検索⇒ EJ-Search →電子ジャーナル総合案内			
No.	No.	O.	
Print Hold	電子ジャーナル (リンク済みのタイトル)	Year (Full Text)	Pub.
Print Hold	Nagoya journal of medical science		
Print Hold	Nagoya mathematical journal		
Print Hold	Nagoya medical journal		
	Nahrung / Food ⇒ Molecular Nutrition and Food Research	1996-2004	Wiley
	Nano Today	2006-	SD
	Nanomedicine: Nanotechnology, Biology and Medicine	2005-	SD
	Nanoparticulate Materials	1995-99	SD
Print Hold	Nanotechnology	1997-	IOP
	National Clinic Review	2003-	Wiley
Print Hold	National geographic		
Print Hold	National interest		
Print Hold	National journal of legal education		
Print Hold	National petroleum news		
Print Hold	Natural Disaster Science	1979-1988	CRC
	Natural Gas	2001-2003	Wiley
	Natural Gas & Electricity	2003-	Wiley
Print Hold	Natural hazards review		
Print Hold	Natural history research		
Print Hold	Natural history research. Special issue		
Print Hold	Natural Language & Linguistic Theory		
	Natural Language Semantics	1997-	Springer
Print Hold	Natural product reports		
Print Hold	Natural product updates		
Print Hold	Natural resources and development		
Print Hold	Nature	1997-	Nature
	Nature Biotechnology	1998-	Nature
Print Hold	Nature Cell Biology	1998-	Nature
Print Hold	Nature Digest (日本語編集版)		
Print Hold	Nature Reviews	1998-	Nature
Print Hold	Nature and Human Activities		
	Nature Nanotechnology	2000-	Nature
Print Hold	Nature Medicine	1998-	Nature
	Nature Neuroscience	1998-	Nature

冊子(プリント版)があるものは  
このアイコンをクリックすると  
所蔵情報が表示されます。

(リンクされている) タイトルを  
クリックすると電子ジャーナル  
ページに入れます。

電子ジャーナルの  
本文利用可能年





## Banker to the Poor

: The autobiography of Muhammad Yunus, founder of the Grameen Bank, by Muhammad Yunus with Alan Jolis, The University Press Limited, [Dhaka], 1998, ISBN 9840514679



(訳書『ムハマド・ユヌス自伝 — 貧困なき世界をめざす銀行家 —』ムハマド・ユヌス, アラン・ジョリ著 (猪熊弘子訳), 1998年, 早川書房)

坪井ひろみ

秋田大学に勤務する前に、私は山口県宇部市に住んでいた。そこで一人のバングラデシュ人医師と出会い、彼からバングラデシュについてさまざまなことを学んだ。そのなかの一つがグラミン(村)銀行の活動である。「貧しい人びとにお金を貸すってどうゆうこと?」「そもそも貧しい人びとが返済できるのかしら?」「貧しい人びとがグループを作って毎週集まるその原動力ってなに?」。次々と疑問がわき、もっと知りたいという気持ちが募り、私はすっかりグラミン銀行に魅了されてしまった。1995年のことである。

本書は、グラミン銀行の創設者で総裁、2006年ノーベル平和賞受賞者で貧困削減の世界的リーダーであるムハマド・ユヌス博士の自伝である。本書は、私が抱いた疑問のすべてに答えてくれた、私にとっては宝のような名著である。しかし、本書の意味はそれに留まらない。彼の貧困削減に向けた強い意志、貧者を信用する哲学、これまでだれも考えつかなかった貧困削減のための手法、そして時にはバングラデシュ政府や世界銀行を敵に回してまでも貫く行動力。私は迷ったとき、いつも

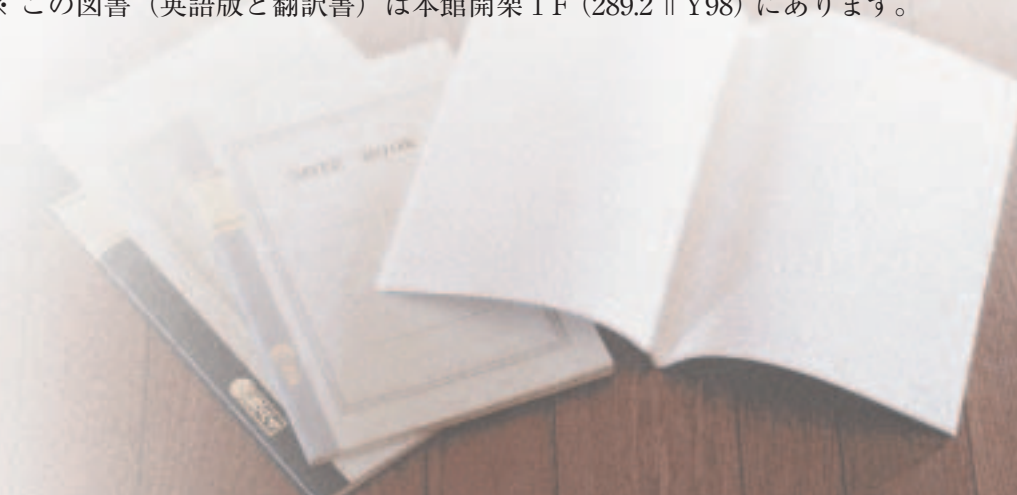
本書を取り出し、数ページを音読して気持ちの整理をしている。この本にはそんな魔法の力がある。手元にある本書には、ユヌス博士が執務室で書いてくださった1999年3月22日付のサインがある。

本書はまた、英語で表現された文章としても、とても魅力的である。ウィットに富んだわかりやすい英文は、十分に手本となるものであり、またそこには、ユヌス博士の人柄がよく表れている。実際のユヌス博士は、木綿のシャツに木綿のズボン、素足にサンダル履きで、冷房のない簡素な部屋で執務をとっている。本書のなかの飾らぬユヌス博士は、実際そのものである。彼はまた一級の話者でもある。彼が講演で話すグラミン銀行の生い立ちは、なんども聞いたことがある人びとをも毎回感動させるほどである。

私は2008年3月27日にもユヌス博士の執務室を訪れ、彼の新刊書にサインをお願いした。そこには「My friend, Hiromi」と記されていた。ユヌス博士に最初にお会いしたのは1998年であった。あれから10年を経てMy friendと呼んでくださったことを誇りに思っている。

(つばい ひろみ 工学資源学部准教授)

※ この図書(英語版と翻訳書)は本館開架1F(289.2 Ⅱ Y98)にあります。





# 本学教員科学研究費報告書

科学研究費コーナーに入りました。  
 (本館→第1書庫 1F／医分館→情報スペース)

研究代表者	書 名	
井 門 正 美	ゲーミング・シミュレーション教材「地球環境サミット」の開発と実践 ( 科学研究費補助金研究成果報告書・基盤研究 C)	教育文化学部
佐々木 (島崎) 雅子	多文化共生を目指す外国語教育の実証的研究：ICT による国際学習コミュニティの創出 ( 科学研究費補助金研究成果報告書・基盤研究 A)	教育文化学部
對 馬 達 雄	ナチスの《過去》とドイツ戦後教育の展開 ( 科学研究費補助金研究成果報告書・基盤研究 C)	教育文化学部
天 辰 禎 晃	非経験的分子軌道法によるジアリールエテン類の光化学反応の検討と新規化合物の設計 ( 科学研究費補助金研究成果報告書・基盤研究 C2)	工学資源学部
河 上 肇	時空変形する領域の形状推定問題に対する放物型方程式に基づく研究 ( 科学研究費補助金研究成果報告書・基盤研究 C)	工学資源学部
玉 本 英 夫	民俗芸能の舞踊のデータベース構築手法の開発とその活用に関する研究 ( 科学研究費補助金研究成果報告書・基盤研究 C)	工学資源学部
金 児 紘 征	二液相界面における薄膜成長にともなう界面張力変化と界面成長機構の解明 ( 科学研究費補助金研究成果報告書・基盤研究 B)	工学資源学部
後 藤 猛	優生外来種移植による嫌気性マイクロフローの改良と動態解析方法の開発 ( 科学研究費補助金研究成果報告書・基盤研究 C)	工学資源学部
今 野 和 彦	波長の制限を超える超音波計測システムの構築に関する研究 ( 科学研究費補助金研究成果報告書・基盤研究 C)	工学資源学部
寺 境 光 俊	酵素分解可能なデンドリティック高分子の合成 ( 科学研究費補助金研究成果報告書・基盤研究 C)	工学資源学部
小 玉 展 宏	f d 遷移による量子カッティングの配位圏アクセプタサイト相関と真空紫外蛍光体の創製 ( 科学研究費補助金研究成果報告書・基盤研究 B)	工学資源学部
神 谷 修	リーチング菌と分解菌の組合せによる汚染土壌の環境低負荷型分解法と金属リサイクル ( 科学研究費補助金研究成果報告書・基盤研究 C)	工学資源学部
村 岡 幹 夫	原子間力超音波顕微技術による極微破壊の制御とナノ流路の加工 ( 科学研究費補助金研究成果報告書・基盤研究 C)	工学資源学部
長谷川 裕 晃	非定常流体力発生メカニズムの解明と水泳の推進力への活用 ( 科学研究費補助金研究成果報告書・基盤研究 C)	工学資源学部
簡 井 智 樹	地震波相関関数探査法による火山浅部地下構造の展開研究 ( 科学研究費補助金研究成果報告書・基盤研究 C)	工学資源学部
小松田 敦	微小変化型ネフローゼ症候群症例の発症・再発時に高発現する抹消血単核球内の遺伝子群 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書)	医 学 部
合谷木 徹	虚血性脳障害におけるβアドレナリン受容体遮断薬の保護効果に関する研究 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書)	医 学 部
蛇 口 達 造	成長期広範小腸切除後の消化管運動機能におよぼすアルギニンの効果 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書)	医 学 部
中 村 彰	世界初のマイクロプロセッサにおける知識の基盤化と社会浸透の記述 ( 科学研究費補助金 特定領域研究 (公募研究) )	医 学 部
片 寄 喜 久	センチネルノード同定のための磁気音響型センサの開発に関する研究 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (B)) 研究成果報告書)	医 学 部
小 川 純 一	転移性肺腫瘍に対する感温磁性体を用いた誘導加熱による低侵襲的温熱療法の研究 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (B)) 研究成果報告書)	医 学 部
田 中 俊 誠	新規卵子成熟誘導因子の同定とその臨床応用 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (B)) 研究成果報告書 )	医 学 部
南 谷 佳 弘	アンチトロンビン III の受容体としてのシンデカン 4 コア蛋白の解析 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (B)) 研究成果報告書)	医 学 部
南 條 博	トレーニングによる全身諸臓器毛細血管活性化の基礎的研究 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書)	医 学 部
尾 野 恭 一	生理活性物質による心筋 T 型 C a チャンネルの修飾と心拍調節への生理的関与 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書)	医 学 部
飯 島 俊 彦	血管内皮イオンチャネル構成因子としての TRP の分子薬理学的解析 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書)	医 学 部
榎 本 克 彦	Bad siRNA delivery による肝虚血 ー 再灌流傷害の抑制 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書)	医 学 部
西 川 祐 司	肝細胞の胆管上皮化生における TNF- α の意義 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書)	医 学 部
堀 江 泰 夫	オートファジーは肝臓の炎症、線維化、発癌に関与する ー 動物モデルによる検討 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書)	医 学 部
大 嶋 重 敏	非アルコール性脂肪肝炎の病態の究明 (酸化したストレスとミトコンドリアの関与を中心に) ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書)	医 学 部
高 橋 勉	小児病態におけるスフィンゴミエリン・セラミドサイクルの研究 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書)	医 学 部
真 鍋 求	腫瘍関連 PI3K の選択的遮断を基盤とする扁平上皮癌に対する分子標的治療法の創生 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書)	医 学 部
本 山 悟	bFGF 徐放・口腔粘膜細胞・吸収性足場およびステントからなる人工食道に関する研究 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書)	医 学 部
宮 澤 秀 彰	類洞微小循環改善によるグラフト肝の viability 向上に関する研究 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書)	医 学 部
打 波 宇	拡大肝切除の安全性向上を目指した細胞内シグナルの人為的修飾に関する研究 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書)	医 学 部
柴 田 聡	ATP-sensitive K channel の外的修飾による肝細胞保護 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書)	医 学 部
溝 井 和 夫	脳機能・代謝画像と実時間超音波計測を統合した画像誘導手術法の開発 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書)	医 学 部
岡 田 恭 司	超音波による軟部肉腫の治療：アクリジンオレンジを音響感受性物質として ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書)	医 学 部
田 澤 浩	収束超音波による軟部肉腫の治療 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書)	医 学 部
吉 富 健 志	毛様動脈血管平滑筋に対する神経ペプチドの効果についての薬理学的研究 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書)	医 学 部
齋 藤 元	急性炎症時好中球血管外遊走における血管内皮細胞内 VASP の役割に関する研究 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書)	医 学 部
高 野 裕 史	機械的圧縮ストレスがヒト顎関節滑膜細胞へ及ぼす骨代謝作用における分子生物学的解析 ( 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書)	医 学 部

## 本学教員等著作寄贈図書

本学教員が著し、寄贈されたものです。  
ありがとうございました。

寄贈者名	書名	責任表示	出版者	出版日付	請求記号
近藤智彦 (教育文化学部)	ドゥルーズ / ガタリ の現在	小泉義之, 鈴木泉, 檜垣立哉編	平凡社	2008.1	135.5 II Ko38
佐々木和貴 (教育文化学部)	文学研究は何のため: 英米文学試論集	長尾輝彦編著	北海道大学 出版会	2008.3	930.4 II N17
佐藤修司 (教育文化学部)	教育基本法の理念と課題: 戦後教育改革と内外事項区分論	佐藤修司著	学文社	2007.8	372.1 II Sa85
斎藤泰 (教育文化学部)	大学教育の構築: 西洋史からの試み	斎藤泰著	南窓社	2008.2	377.15 II Sa25
三浦順治 (名誉教授)	ネイティブ並みの「英語の書き方」がわかる本	三浦順治著	創拓社出版	2006.6	836 II Mi67
志立正知 (教育文化学部)	西行歌枕: その生涯と名歌の舞台を旅する (Sun-magazine mook)	節田重節編集協力	マガジン・マガジン	2008.4	911.142 II F96
成田雅樹 (教育文化学部)	小学校「国語の知識」を定着させる授業づくり: 文科省全国学力調査対応: いま求められる国語力の基礎基本 (「国語力」向上の授業改革: 2)	成田雅樹著	明治図書出版	2008.1	375.82 II N52
成田雅樹 (教育文化学部)	21 世紀における学校教育・国語科の在り方: 小学校国語科専門用語候補の選定と理解度調査及び考察 (研究報告 :no. 67)	中央教育研究所 [編]	中央教育 研究所	2007.5	375.82 II C66
渡部育子 (教育文化学部)	北方社会史の視座: 歴史・文化・生活 第 1 巻	長谷川成一, 関根達人, 瀧本壽史編	清文堂出版	2007.12-	212 II H86 II v.1
日高水穂 (教育文化学部)	沖縄フィールド・リサーチ 2 (日本・アジア文化調査実習報告書: 2006 年度 -2007 年度)	島村恭則, 日高水穂編集	秋田大学 教育文化学部	2007.2	290.4 II Sh39 II v.2
日高水穂 (教育文化学部)	アスペクト / テンス / 肯否 (現代日本語文法: 3)	日本語記述文法 研究会編	くろしお出版	2007.11	815.08 II N71 II v.3
日高水穂 (教育文化学部)	日本海沿岸地域方言の地理的・年齢的分布 (日本海グロットグラム)(科学研究費基盤研究(C):「日本海沿岸の新方言伝播の地理的歴史的研究」研究成果報告書)	井上史雄編著	明海大学	2008.3	科研費コーナー
Donald C. Wood (医学部)	The economics of health and wellness: anthropological perspectives (Research in economic anthropology: an annual compilation of research:v. 26)	edited by Donald C. Wood	Elsevier JAI	2008	498 II W86
石山公一, 佐志隆士 (医学部)	マンモグラフィのあすなろ教室 (画像診断別冊)	石山公一, 大貫幸二, 佐志隆士, 角田博子著	秀潤社	2007.9	WP815 II Ma 44 II 2007

## 子ども見学デー開催



渡会館長の挨拶



昔の教科書  
展示コーナー



電子図書  
体験コーナー



自動貸出装置  
体験コーナー

8月19日(火)午前中、平成20年度秋田大学子ども見学デーが開催されました。全学で6コースに分かれ、約180人の親子が、大学の各施設を見学しました。

図書館(本館)には7家族17名の親子が訪れ、図書館ツアーの後、各コーナーで体験し、最後はスタンプラリーで図書館員と一緒に本を探したりしながら楽しい時間を過ごしていただきました。



# 医学部分館コーナー

## ～視聴覚資料活用ノススメ～

医学部分館では、主に医学、看護学、医療技術分野の視聴覚資料約850タイトルを所蔵しています。1階の視聴覚室（5部屋）で利用できます。授業の予習・復習に役立つ資料の他、実習やOSCE（客観的臨床能力試験）の準備に活用できる資料もあります。タイトルリストはホームページとカウンターでご覧いただけます。最近購入したものは、ブラウジングコーナー手前の棚でも確認できます。利用の際は、学生証または図書館利用者カードをお持ちの上、カウンターまでお申込みください。

視聴覚資料は

- \* 館外貸出はしておりません。館内視聴覚室でご利用ください。
- \* 学内者のみ利用できます。（学外の方はご利用いただけません。）
- \* 学内蔵書検索システム（OPAC）で検索できます。

### <所蔵DVD一例>

#### ◆ 医学映像教育センター製作「目で見える」シリーズ

映像とCGアニメーションによって、わかりやすく解説されている教材です。授業の予習、復習に役立ちます。「目で見える医学の基礎」、「目で見える病気」、「目で見える薬理学入門」、「目で見える生化学入門」、「目で見える老年看護学」等を取り揃えています。

#### ◆ 機能解剖マニュアル Atlas of Human Anatomy（全10巻）

解剖の基礎知識である各部位の名称とその機能・動き等が本物の人体モデルを使ってビジュアル的に解説されています。医学をはじめ、リハビリテーションやスポーツ科学等の資料としても活用できます。

#### ◆ 新医師臨床研修制度対応ビジュアルプログラム研修医のための基本技能（全25巻）

実際の映像やCGを用いて、身体診察や医療面接、治療手技等を修得できるよう工夫された初期臨床研修の参考資料です。研修医・研修指導医をはじめ、医学部学生にも有益な内容です。OSCEの準備にも活用できます。

#### ◆ NHKスペシャル 驚異の小宇宙 人体Ⅲ 遺伝子（全6巻）

CG映像を交え、生まれ持った遺伝子によって多様な人生を送る人々の姿を通して、遺伝子のしくみが解説されているサイエンス・ヒューマン・ドキュメンタリー番組です。

#### ◆ ER：緊急救命室（Ⅰ～Ⅹ）

救急救命室（Emergency Room）で働く医師や看護師たちを描いた海外ドラマです。NHKで放送されているのでご存知の方も多いでしょう。リアルな医療現場の様子や放映時点での最新の実験的治療の登場など、医療に関する綿密な考証が話題となりました。医学英語の学習にご利用ください。

開館中はいつでも利用できます。授業のあいだや放課後などを利用して、是非ご活用ください！

### 購入して欲しい資料はありませんか？

館内のリクエスト用紙、または分館ホームページから図書や視聴覚資料の購入リクエストができます。医学部分館では、学生の皆さんからの医学・看護学・医療技術分野のリクエストを受け付けています。リクエストをいただいた資料は、内容と予算を考慮の上、購入するかどうかを決定します。「あったらいいな…」という資料がありましたら、是非リクエストしてください。お待ちしております。

# お知らせ

## 1. 後期情報リテラシー授業開催します。

授業名：情報と知識・技術 B

期 日：10月7日～11月18日（毎週火曜日）

教 室：総合情報処理センター第1端末室（定員50名→申込先着順です）

内 容：ネット時代における的確な情報収集法とレポート・論文作成法を学ぶ

## 2. 図書館アンケートを実施します。

期 間：2008年10月15日～31日

方 法：図書館HP（WEB）による回答方式です。後日、ご案内します。

## 3. 図書館特別企画のご案内

期 日：2008年10月18日（土）

内 容：1. 講 演：13:30～14:30 「白神探訪」（講師：井上正鉄 教育文化学部教授）

2. 特別展示：10:00～17:00（白神山景写真パネル、白神関係図書）

詳細は図書館HPやポスターでご案内します。

## 4. 後期用図書館ミニカレンダーを作成しました。

内 容：2008年10月～2009年3月の開館日・開館時間が確認できます。

配 布：図書館本館、医学部分館カウンターでお配りしています。

## 5. 図書館カウンターから

◎ 本館1Fのエアコン工事が完成しました！

夏休み中は工事のため大変ご不便をお掛けいたしました。おかげさまで全閲覧室とブラウジングコーナーにエアコンが入りました。どうぞ快適な環境でご利用ください。

◎ 県立図書館の本が借りられます！

7月から県立図書館との相互貸借サービスがスタートしました。図書館HPのMy Libraryからお申し込みください。本学にない分野の資料が豊富です。詳細はカウンターまで。

◎ 閲覧室での飲食は禁止です！

ペットボトルはカバンの中へ。飲食はブラウジングコーナーでお願いいたします。

## 編集後記

夏休み後半は朝夕に秋の気配を感じるようになりました。日中はまだ暑さの続く中、図書館で勉強する利用者の姿も増えてきました。

今年はトイレや空調、スロープ等の各種利用環境の改善・工事を行いました。図書館アンケートも実施します。皆さんの声を反映させ、効果的な教育環境の整備を推進します。ご協力よろしくお願いいたします。

## 図書館だより 第66号

2008年10月1日発行

編 集 秋田大学附属図書館出版物編集委員会

発行者 秋田大学附属図書館

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

TEL 本館018-889-2279 分館018-884-6052

FAX 本館018-832-4917 分館018-884-6252

E-mail：本館 riyos@lib.akita-u.ac.jp

分館 ibun@lib.akita-u.ac.jp